

国道294号常総バイパスの思い出 渡邊一夫氏 × 渡辺功氏

元県土木部長 (当時・県土木部道路建設課) 元県土木部技監兼筑西土木事務所長 (当時・常総工事事務所長)

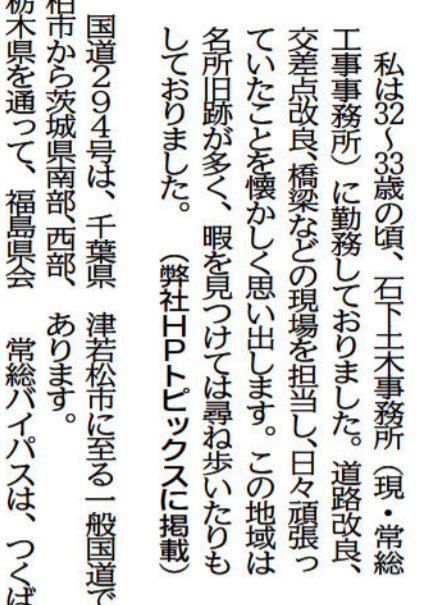


いばらきの公共事業を紐解く

私は32、33歳の頃、石下土木事務所(現常総工事事務所)に勤務してました。道路改良、交差点改良、橋梁などの現場を担当し日々頑張っていたことを懐かしく思い出します。

国道294号は、千葉県津市に至る一般国道で、柏市から茨城県南部、西野、常総ハイパスは、つくば市を通り、福島県会

立体化より4車線化優先 平成27年9月に、茨城県東茨城郡常総市で、常総ハイパスの4車線化が完了しました。



この事業の大部分は、圃場整備事業と連携し、創設された道路用地を生み出した。その後、道路側が用地を買収する、という仕組みでした。

その後、平成27年9月に、茨城県東茨城郡常総市で、常総ハイパスの4車線化が完了しました。



この常総ハイパスとは、長いお付き合いになりました。この事業の大部分は、圃場整備事業と連携し、創設された道路用地を生み出した。

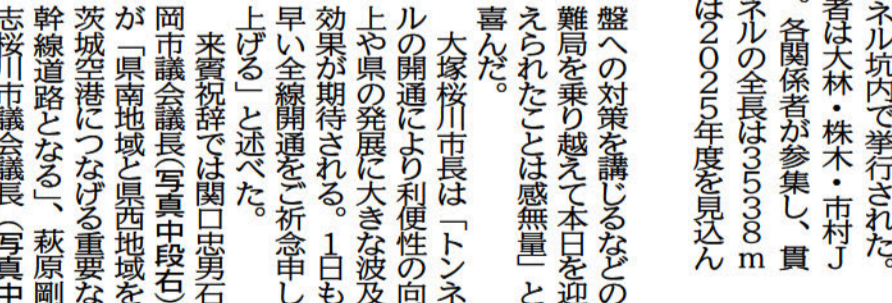


上曾トンネル本体工事が貫通 県内最長 25年度完成へ期待

石岡市と桜川市、県/工事関係者も参集



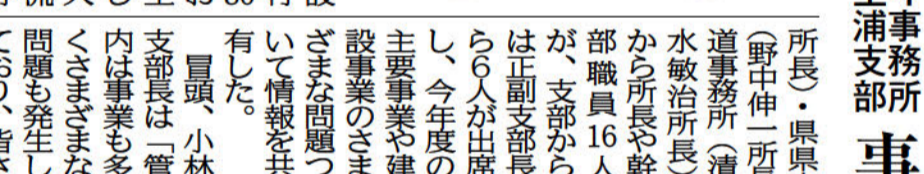
（仮称）上曾トンネル本体工事貫通式が4日、トンネル坑内で挙行された。事業者は石岡市および桜川市、発注者は茨城県、施工者は大林・株木・市村JV（石岡工区）と大成・岡部・白田JV（桜川工区）。



川市長(写真上段左)らが点火のスイッチを押した。続いて、貫通温測の儀や関係者の初め初めを執り行った。

県が執行方針など説明 県出先4事務所 事業打合せ会議

茨建協土浦支部



県出先4事務所と県建設業協会土浦支部(小林伸行支部長写真左)は6月30日、事業打合せ会議を開催した。

セルレア 店舗兼共同住宅計画

上河原崎・中西地区の商業・業務施設等用地分譲に係る一般競争入札を執行。不動産賃貸などを手掛けるセルレア(美浦村)が落札した。

土地の所在は、つくば市エクスプレス万博記念公園駅の北西に位置するD26街区の5110万円で742m用地落札。用途地域は近隣商業地域(建ぺい率80%、容積率200%)。地目は宅地。

旧本庁舎の解体 本年度は設計へ

下妻市は、旧本庁舎解体に向けた設計業務を進めていく。設計の指図競争入札は7月11日開札の予定で、10月までの策定を目指す。着工時期は2024年度以降で検討している。



解体跡地の活用方法についても、今後検討していく。庁舎側にある駐車場は、現在は新庁舎等の駐車場として利用している。



向の上(と)期待。白田信夫議員(写真中左)が「沢山の人の願いが込められている。必ず素晴らしいトンネルができることを確信している」と述べた。